

課題提出と授業でICTを活用し、授業の効率性を高める

オンラインフォームでのライティング課題の提出

(取り組み)

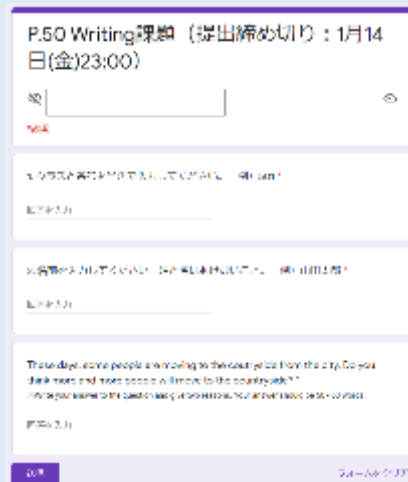
本校で利用している学習管理アプリを使用し、授業で取り組んでいるライティング課題をオンラインで提出するためのフォームを作成した。

(利点・効果)

- ①生徒は手書きばかりではなく、スマホやパソコンで英語を入力することに慣れることができる。⇒※英検S-CBT対策にもなる！
- ②デジタルデータで提出することによって、のちに授業内でそれぞれの解答を共有しやすくなる。

ICT活用のポイント

- ・今回はテストではなく課題であるので、生徒が納得いくまで何度も提出できる設定にした。
 ⇒フォーム作成の際に様々な設定ができるので、生徒にとってより良い課題となるように設定に工夫が必要。



オンライン提出フォーム

iPadとプロジェクターを用いて授業で解答を共有

(取り組み)

全員分の解答を載せたプリントを配布し、共有した。そして、iPadの画面をプロジェクターでホワイトボードに写し、教員が直接そこに書き込み、解説と添削をおこなった。生徒はそれを見ながら、プリントを利用して学習を進めた。

(利点・効果)

- ①解答を共有することにより、英作文の書き方について学ぶだけではなく、他人の意見を知ることができ、新たな考え方や発想力を得ることができる。
- ②ICT機器と紙のプリントのバランスをとることにより、効率的に授業を進めることができる。

<第2学年 英語基礎>



授業風景 (動画：約10秒)

ICT活用のポイント

- ・ICT機器ばかりに頼ってはいけない。
 ⇒課題の提出はオンラインで実施したが、生徒が直接書き込み、手元に保存できるようにプリントを作成した。

Flashcardsで語彙や文の反復練習

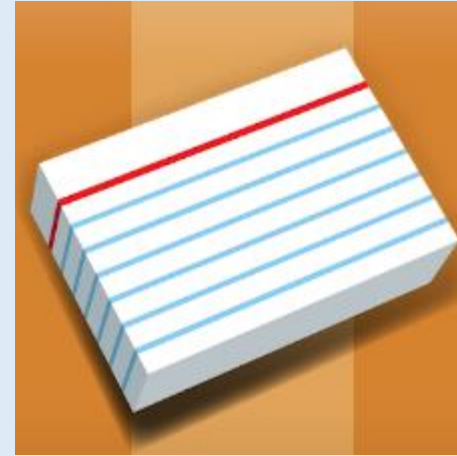
アプリ名 Flashcards

<第2学年 ComII、英表IIなど>



ICT活用のポイント

- ・フラッシュカードで反復練習
- ・素早く表示ができ大量に練習できる
- ・ランダム表示も可能
- ・ペアで発話して活動
- ・語彙にも文にも使える



iOSアプリの「Flashcards」を使用。
iPadを画面や黒板上に表示します。
フラッシュカードのアプリ

毎時間の語彙練習や、文の暗唱練習
に使える。短時間に多く練習できる
ので帯活動にも使える。

画面に英語または日本語を表示し、生徒はペアに
なり、1人が画面を見て出題、もう1人は答える。

教師はすぐにカードをひっくり返す。パートナー
が答えられなかった生徒は答えを言ってあげる。

英単語を発音し、意味を答える など。

学び直したい生徒のための補習の補習

ビデオ会議アプリ Webex

夏季休業を利用して、英語の苦手な生徒から希望を募り、オンラインで補習を実施した。学力的に従来の対面形式の補習に付いていくことができない生徒が数名、オンライン上に集まり、高1の内容から復習を行った。生徒は切磋琢磨しながら、協働して課題解決にあたることができた。

ICT活用のポイント

- ・同程度の学力の者が集まるので、生徒は気後れすることなく、互いに単語のクイズを出し合ったりしながら、活発に学ぶことができる。その中で、共に学び合う連帯意識が生まれる。
- ・感染症に臆することなく、補習を実施することができる。時間的・地理的に融通が利くため、遠方に住む生徒も気兼ねなく参加することができる。

<第3学年 夏季休業 補習>



オンラインでの授業風景

右上に参加者。生徒が「今更聞きづらい」と言う英文法の基礎知識について画面共有し、解説中。